



RESCUE概要

基幹システムを可視化 保守業務生産性の向上 ドキュメント整備に

最新のリバースエンジニアリング技術を用い、様々な角度からシステムの構造分析、システム変更に伴う影響範囲の調査を可能にしたリバースエンジニアリングツールになります。

【導入効果】

- ① 掛かり過ぎていた現行システム保守のコスト削減
 - ② 保守対象ソフトウェア資産のスリム化
 - ③ スパゲッティ化しているホスト基幹システムを可視化し、保守業務生産性向上
 - ④ システムインテグレーション及び、マイグレーションに伴う現行システム分析とドキュメント整備
- ※ 現在100セット以上（2016年4月時点）の導入実績が御座います。

【導入効果測定／予測 ユーザ事例】

(1) スキャン機能（現行 PAN#8 との比較）

検索アイテム		PAN#8	レスキュー
1. 移管予定者情報 (POS) の支社コード	検索	4分	1分
	一覧作成	5分	1分
	合計	9分	2分
2. 管理更新情報 (UDI) の債部区分	検索	8分	1分
	網込み調査	30分	0分
	一覧作成	10分	1分
合計	48分	2分	

▲7分 ▲46分

(2) 波及分析機能（現行 PAN#8 との比較）

検索アイテム		PAN#8	レスキュー
1. 管理更新情報 (UDI) の審査状況から他のファイルなどへの影響	検索	6分	3分
	網込み調査	480分	0分
	一覧作成	0分	1分
合計	486分	4分	

▲482分

↓ 「9月度作業実績表」集計結果より

開発メンバー（社員・協力会社常駐）が費やしている影響調査時間「約421時間/月」の約60%程度（約25.2時間/月）以上の工数削減が見込める

目的	工程	
	上流工程 ~ 詳細設計	保守 (157) 対応・問合せ)
プログラム影響調査の効率化と時間短縮	<ul style="list-style-type: none"> ■変更開発の影響把握の迅速化 ■影響調査に要する工数の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ■トラブル調査の迅速化 ■問合せ対応の迅速化
プログラム影響調査の精度向上	<ul style="list-style-type: none"> ■変更工数の見積もり精度向上* ■開発作業の手戻り削減 	<ul style="list-style-type: none"> ■2次トラブルの未然防止 ■的確な問合せ対応

主な機能

- 資産情報照会
ソフトウェア保有資産情報を提供
- 各種クロス照会
プログラム、JCLの解析結果から関連リソースとの資産関連情報を提供
- 各種台帳照会
プログラム、JCL等の各種リソース解析結果から、リソース個々の解析情報を提供
- 波及分析機能
リソース間のデータ遷移に着目し、データ項目（アイテム等）における他リソースへの波及分析が可能
- 棚卸し調査
未使用プログラム、未使用コピーや不足プログラムの棚卸し情報を提供
- データ取り込み・DBエクスポート機能
各種リポジトリ収録情報の一括ファイル出力が可能
- データ印刷機能
ジョブフロー、ファイルレイアウト図、ネット図等のイメージ印刷データを自動生成

メインフレーム・現場開発者に負荷を掛けないコストダウンを実現

RESCUE機能構成(一部抜粋)

- RESCUE
 - リポジトリ照会
 - 台帳照会
 - プログラムクロス照会
 - ジョブクロス照会
 - スキャン機能
 - 波及分析
 - ネットワーク照会
 - 資産情報照会
 - リポジトリ管理
 - 新規登録
 - 一覧・削除・変更
 - 波及対象外設定
 - 棚卸対象外設定
 - 同義・異義
 - リポジトリ整備
 - ログ参照
 - 棚卸し調査
 - 日本語名称
 - ソースコード検索

RESCUEソース解析の抽出情報から各種照会機能を提供

各種ソース個別の抽出情報をメンバー名毎に情報照会
 サブルーチン、展開リソース(コピー句 インクルードetc)等をキーとしたプログラムクロス照会
 プログラム、カタプロ等をキーとしたジョブクロス照会
 プログラム中にて実際に使用されているアイテムやリテラルをキーとした検索機能
 アイテム、データセット、リレーショナルデータベースの列名を基点とした波及分析機能
 バッチ自動運転ツール(OPC A-AUTO等)の登録情報を各管理単位(ジョブネット ネットワーク)にて照会
 管理リソースの一覧情報(ソース本数 総ステップ数etc)を全システム、サブシステム単位に照会

RESCUEを有効活用するための管理情報を登録

ユーザID、業務名(サブシステム名etc)等の新規登録
 ユーザID、業務名(サブシステム名etc)等登録データのメンテナンス
 波及分析時における波及対象外データセット、プログラムの登録
 棚卸し調査機能における棚卸し除外対象のプログラムを登録
 同一アイテム名に対する同義異義の設定

RESCUEリポジトリのメンテナンス及び、棚卸し調査機能を提供

RESCUE自動運転結果のログを照会
 ホストシステムの棚卸し対象候補を照会
 プログラム、ジョブ等に対する日本語名称の登録、メンテナンス
 各種ソースに対する文字列検索機能を提供

台帳表示 戻る 閉じる 検索 印刷

プログラム台帳 2011/04/19 15:24

PROG-ID	プログラム名称	言語	総STEP数	MAIN/SUB	業務名称	更新日
FAA832Q	営業実績ファイル作成処理	COBOL	116	MAIN	売上管理システム	1998/05/08

DD情報(データセット)

DD名	JOB-ID	I/O	データセット名	データセット名称
SYS011	JAAB310	入力	TRAN.DS9999.DATA	売掛一覧
SYS011	JAAB320	入力	TRAN.DS8888.DATA	営業実績ファイル
SYS011	JAAB330	入力	TRAN.DS7777.DATA	個人振込情報オンライン入力補助リスト
SYS021	JAAB310	出力	88.OUTPUT1	
SYS021	JAAB320	出力	88.OUTPUT1	
SYS021	JAAB330	出力	88.OUTPUT1	

DLI CALL情報

ファンクション	PCB名	入出力種別名	SSA変数名	セグメント名
GU	DBS000-PCB	DBS300-REC	DBS300-SSA	DBS300
GU	DBS000-PCB	DBS300-DEC	DBS300-SSA	DBS300
GN	DBS000-PCB	DBS320-REC	DBS320-SSA	DBS320

DBD情報

DBD-ID	商品情報	DBD名称
DBD200	商品情報	
DBD300	社員情報	

波及アイテム履歴 戻る 閉じる 検索 印刷

波及アイテム HT:7 PAGE:1/1 2011/04/19 15:22

波及ID	波及レベル	検索ユーザ名	検索方向	命令	ネットワーク波及	処理日	状態詳細
DEMO1234	3	デモ用ユーザID	下方向	代入+比較	しない	2005/05/04	★

通番	PROG-ID	団体	状態	アイテム/リテラル	属性	位置	桁数	上位レベル
1	FAAA000	基点		KYAKU	符號10進	0	4	01 DSS999-REC / 03 DSS999-KEY
2	FAAA32Q	比較	リテラル	9999				
3		入力		URICD	符號10進	0	4	01 DSS900-REC / 03 DSS900-KEY
4		代入		URICD	符號10進	0	4	01 DSS999-REC / 03 DSS999-KEY
5	FAA832Q	代入	DL/I 終点	DBS320-URICD	文字	4	4	01 DBS320-REC / 03 DBS320-DATA
6		代入		URICD	符號10進	0	4	01 DSS320-REC / 03 DSS320-KEY
7		入力		URICD	符號10進	0	4	01 DSS999-REC / 03 DSS999-KEY

ジョブフロー 2011/04/19 15:31

JOB-ID	ジョブ名称	実行STEP数	業務名称	更新日
JAAB320	売上先別営業実績出力	4	売上管理システム	2010/06/24

```

//JAAB320 JOB SAREMO, CLASS=J, REGION=1024K, MSGCLASS=V,
// MSGLEVEL=(1,1), TIME=5, COND=(30,NE)
//JOBEL18
DD DSN=REMO.PGM.LB, DISP=SHR
EXEC PGM=OPRRCDD, RECI=OPR12K,
// FROM DSS888.001
//SYS011 DD DSN=TRM.DS9999.DATA, DISP=SHR
//SYS021 DD DSN=REMO.UNIT=SYSD0,
// DISP=(MER, PASS, DELETE),
// SPACE=(TR, LRE, 3), RLSE=),
// DCB=(RECFM=FB, RECL=922, BLKSIZE=8220)
//
//STEP02 EXEC PGM=HTLY001
//SYS011 DD DSN=88.OUTPUT1, DISP=(OLD, DELETE, DELETE)
//SYS021 DD DSN=88.OUTPUT2, UNIT=SYSD0,
// DISP=(MER, PASS, DELETE),
// SPACE=(TR, LRE, 3), RLSE=),
// DCB=(RECFM=FB, RECL=922, BLKSIZE=8220)
//SYS03 DD DSN=88.OUTPUT3
//SYS04 DD DSN=88.OUTPUT4
    
```

解析サポート資源

HOST	OS	DB/DC	言語 その他
IBM	MVS OS390 z/OS	IMS DB2 CICS	COBOL PL/I TWS(OPC) --- 3rdベンダー系P.P ---
FACOM	OSIV / MSP OSIV / XSP	AIM /NDB RDB II	NATURAL EASYTRIEVE EASYTRIEVE - PLUS
HITAC	VOS3	ADM XDM / SD XDM / RD	ADABAS A - AUTO

※ その他資源につきましては、カスタマイズにより対応可能となります。

お問い合わせ

詳しい製品内容は弊社ホームページでご確認ください。

ソフトウェアジェネレーション株式会社

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-6-2

ダイナミックビル3F

TEL: 03-3234-5638

URL: <http://www.soft-g.jp/>



パンフレット掲載内容は2016年4月現在のものです。